



2年栽培環境コース 集中実習

2年栽培環境コースは5月6日～5月12日の期間(5日間)に、初めての集中実習を行いました。



【配管・生海水タンク掃除の様子】

1日目の実習では、栽培漁業実習棟で魚類等の飼育に使用する濾過海水を順調に得られるように、配管と生海水タンクの掃除を行いました。

配管の中にはイガイやフジツボなどが付着していて水の流れを悪くしていました。これを取り除き、ヒラメの種苗生産やフグの養成等に必要な濾過海水を十分に得られるようにしました。またこの作業は、魚病の発生やポンプの故障を減少させる目的もあります。暑い中大変な作業でしたが、みんなよく頑張りました。



【飼育槽比重測定】

2日目は海水比重測定などの水質調査や、ヒラメ卵の観察とその収容を行いました。

ヒラメは5月2日から産卵をはじめており、この日の明け方にも約30万粒を産卵していました。顕微鏡では正常な卵や未受精卵、死卵の違いを観察しました。

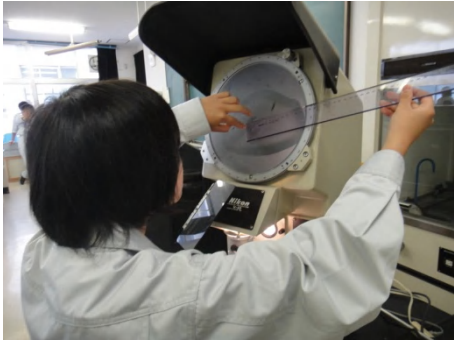
正常な受精卵の一部は班ごとに飼育水槽へ収容しました。収容する卵数や飼育水量、流水式飼育か止水式飼育かなどを自分達で決めました。どこまで育てられるか、初めての種苗生産に挑戦です。



【卵観察】



【卵収容】



【孵化仔魚観察】



【採集生物同定】



【施設掃除】

3日目は孵化したヒラメの仔魚観察とタンク掃除で採集した生物の同定、飼育施設の掃除を行いました。



【説明を聞いています】



【取り付け開始】



【垂下作業】

4日目は京丹後市久美浜にある湊漁業協同組合様にお世話になり、稚ガキの取り付け作業を行いました。ホタテのからに着いた稚ガキを「垂下連」というロープに取り付け、筏に吊り下げました。



【着荷】



【袋ごと水槽へ】



【水温馴致】



【尾数のカウント】



このラフグは2年生が管理します。大切に育てれば、1年半後には1kgになります。入荷サイズは体長2.5cm前後、体重は約1g、340尾でした。